

ているるちゃんがいく!

Vol. 74

2024.3



- 特集1 令和5年度 第5期「ているる塾」課題検討結果報告会及び閉講式
- ているる塾修了生コラム第8回 第5期修了生 根路銘 加奈子 さん
- 事業報告／事業案内
- 図書情報室からご案内
- ているる相談室、賛助会員のご報告

令和5年度 第5期「ている塾」課題検討結果報告会及び閉講式

令和6年1月30日（火）に令和5年度第5期ている塾の課題検討結果報告会を開催しました。塾生は4グループに分かれそれぞれの課題を検討し発表しました。



報告会

1グループ わたしの応援団！“Hamon” ●テーマ：「社会全体で子育てする意識改革ーアンコンシャス・バイアスの克服ー」

日本では性別役割分担における無意識の思い込み（アンコンシャス・バイアス）が、女性のキャリア形成の妨げとなっており、男性の育休取得率も低い。今回は、寸劇も交えてこの課題を解りやすく表現しました。また、男性育休取得率の高い企

業の事例を考察するとともに、家庭での取り組み事例として、内閣府男女共同参画局が作成したコミュニケーションシートを活用し、家庭内での意識改革を図る工夫の一助となることが解りました。

2グループ Lady,Go! ●テーマ：「自由な選択、未来の可能性～女性が輝ける働き方～」

働く女性の生活に変化をもたらす出来事として、結婚、出産、育児、介護があります。そこで、働き方の改善に取り組んでいる企業を調べたところ、育児や介護のため労働時間を短縮出来る制度があったり、テレワークの推進等に取り組んでい

る企業は、女性が働きやすくなるだけでなく、業務効率化等も図られ、全ての社員が働きやすくなっていることが解りました。企業は従業員が働きやすくなる制度を取り入れていくことを提案します。

3グループ TOP5 ●テーマ：「日本がジェンダーギャップ指数 TOP5になるために」

世界のジェンダーギャップ指数で、日本が低いのは、「経済」の中で管理的職業従事者の男女比が大きい（女性管理職が少ない）ことも一因です。女性が管理職になるためには、上司からの働きかけが大きいことがわかったため、上司とのキャリア面談を行い、社員が自分の興味・関心を伝え

ることが有効であると考えました。そこで、実際にキャリア面談を取り入れている企業を調査し、その結果、社員と会社の関係性が良くなり、仕事への意欲も高まることが解りました。

4グループ めざせライフプランナー ●テーマ：「働く女性をとりまく多様なバイアス」

女性が働きにくいと感じる場合「結婚・出産・育児」を理由にしていることが多く、そのため非正規の雇用を選択する女性もいます。その背景にアンコンシャス・バイアスが影響しています。「家庭と職業」「キャリア開発と発展」「沖縄の特有の

文化」についてのアンコンシャス・バイアスを考察し、それを無くすための自分達の提案として、義務教育にジェンダー教育を取り入れること、会社規模での意識改革、先祖供養のあり方を見つめ直す等を考えました。

それぞれのグループの発表に対し、コメンテーターである沖縄キリスト教学院大学 新垣誠人文学部長、株式会社オーブグリーン 山本京子代表取締役、県女性力・平和推進課 島津典子課長からコメントを頂きました。



コメンテーター
(新垣誠氏、山本京子氏、島津典子氏)

課題検討結果報告会の後、引き続き閉講式を行い、ている塾長である玉城デニー沖縄県知事から塾長挨拶としてビデオメッセージを頂きました。

「ている塾は5期生となりましたが、過去にている塾で学んだ人達は起業したり、いろいろなところで活躍しています。全ての塾生に対し、沖縄県を明るく照らす存在になって欲しいと思います。」



閉講式 塾長あいさつ
沖縄県知事 玉城デニー

塾長挨拶の後、沖縄県子ども生活福祉部 宮平道子部長から 31名の塾生それぞれに受講修了証書の授与を行い、その後、塾生代表として根路銘加奈子さんから挨拶がありました。



子ども生活福祉部 宮平部長より修了証書授与①



子ども生活福祉部 宮平部長より修了証書授与②

最後に、おきなわ女性財団 大城貴代子理事長から閉講の挨拶がありました。

「仕事と妊娠、出産、育児、介護の両立の課題が、自分が働いていた頃と同じように未だに解決していないと、塾生の発表を聞いていて思いました。いつの日か解決する日が来ることを願います。塾生には、女性のネットワークを活かし女性が輝く生き方が実現出来る社会の一助になって欲しいと思います。」



閉講式 記念撮影



ているる塾修了生コラム

第8回

第5期生

ねろめ かなこ
根路銘 加奈子



夫と子ども2人(中3女・中1女)の4人家族。大学卒業後、ウェディングプランナー、広告代理店、現在の旅行会社へと転職し、長年プロモーション業務に携わっている。モットーは「まずはやってみる」。結婚、出産後、時短勤務をしながらキャリアアップし、2023年度の休職前までは管理監督者として従事。2024年4月からは「一次的なキャリア限定制度^{*}」を利用し復職する。
^{*}育児・介護の際に、自らの選択で業務の限定や以前のキャリアに留まることにより自ら望むワークライフバランスの実現を支援する制度。

私は、株式会社 JTB 沖縄において、長年観光客向けのプロモーション業務に従事しております。私事ではございますが、家庭の事情により昨年4月から今年3月までの1年間、休職しております。

休職前は管理職をしていたこともあり、毎日残業続きで、子どもたちと向き合う時間がほとんど取れていませんでした。仕事と家事・子育ての両立の難しさを痛感しつつも、改善策を考える余裕もない状態でした。

しかし、休職に入り、今後の自分の人生、子どもたちの未来を考える時間をいただいたことで、「女性の働き方を変えたい」という想いが強くなり、様々な情報を収集していたところ「ているる塾」に出逢いました。以前よりメディアでご活躍されている講師陣から具体的なスキルを学べる点、グループワークを通して様々な価値観を学べるのではという期待から応募しました。

集まっている塾生は、20代～40代と幅広い年代で、業種や職種、そして子育て中など、これまでの経験や置かれている環境も異なる方ばかりです。

私自身、毎回のグループワークで、新しい価値観の発見や視野が広がっていくことを楽しんでいました。

そして講師5人の講義も知見が広まる内容ばかりでした。

ロジカルに話すために、自分自身の考え方の癖を知ること。そして、相手の言葉の後ろにあるものを考えることで、コミュニケーションを俯瞰し、相手に分かりやすい情報を伝えること。

そもそもその「一貫性」は正しいのか？その考えにバイアスがかかっていないか、視点を変えることで見えてくることはないか、時には立ち止まって考

えることも重要であること。

声を上げないのは加害者と同じ。どうせ、変わらないと諦めてはいけない。違和感を声に出し、行動し続けなければならない・・・など。

それらを踏まえて、相手の発言を尊重し合いながらグループディスカッションしたことで、多角的な思考も身につけていきました。

私自身、入塾前は、「ワーキングママ」視点で物事を見る傾向がありました。しかし、講義を通し、一つ一つアンコンシャス・バイアスが解消され、塾メンバーとの議論や意識調査データ等を目にしていくなかで、主語が「ワーキングママ」から「全ての人」に変化していきました。

性別、既婚未婚、子がいるなしに関わらず、全ての人が働くことに価値を見出し、プライベートの時間も楽しむ。誰かが我慢するのではなく、みんなで助け合っていく。10年後、20年後の子どもたちの未来が当たり前になっているよう、行動したいと思うようになりました。

そのためにもまずは、今回の提案を発表だけで終わらせず、家庭、職場、地域へアウトプットしていきたいと思います。

ひとりではできることは小さなことかもしれませんが、ただ私にはているる塾5期生という仲間がいます。仲間と共に、ているる塾の先輩方と交流を深めながら、心豊かな活力ある沖縄の実現に向かって、行動し続けていきたいと思っています。

最後になりますが、ているる塾生の活動をサポートいただきました、職場や家族、コーディネーター、アドバイザーの皆さま、事務局の皆さまに心より御礼を申し上げます。(第5期ているる塾閉講式挨拶)

事業報告

(公財) おきなわ女性財団



【性の多様性に関する講座】

今知ってほしい 性の多様性の基礎知識

実施日：令和6年2月3日（土）14：00～16：00

講師：佐脇 広平氏・竹葉 梓氏
（市民団体ていーだあみ 共同代表）

場所：ているる3階 研修室1・2

内容：市民活動をしている講師のお二人から、性が多様であるのは、それぞれ持っている性の要素が多く組み合わせられるからである事、私たち全員が多様な性を生きる当事者である事、またセクシャルマイノリティの現状や、一人一人が生きやすくなるために今日から出来る事等をわかりやすく学び、受講者は熱心に聞いていました。



佐脇 広平氏



竹葉 梓氏

【第1回男性の家事・育児参画講座】 2023年ノーベル経済学賞関連①

「働き方の現状」と日本のジェンダーギャップ

実施予定日：令和6年1月20日（土）14：00～16：00

講師：石川 公彦氏（沖縄大学経法商学部 教授）

場所：ているる3階 研修室1・2

内容：日本のジェンダー・ギャップ順位や日本企業における人的資源管理モデルを通して「構造化されたジェンダー格差」について学び日本と外国の制度や組織の違いを確認しました。働く場における「仕組みや制度」について考えました。



石川 公彦氏



【第2回男性の家事・育児参画講座】 2023年ノーベル経済学賞関連②

「産前産後の母体ケアとパートナーの役割」について

実施予定日：令和6年2月24日（土）14：00～16：00

講師：井上 松代氏（県立看護大学・大学院 母性保健看護・助産 准教授）

場所：ているる3階 研修室1・2

内容：妊婦体験や赤ちゃん人形の抱っこの体験を通して、妊婦時の日常生活における不自由さやパートナーの心身の変化について学びました。また妊婦や胎児に弊害となる、長時間労働や喫煙に関する知識の習得を図りました。「役割にとらわれず」共に学ぶことで、母体ケアとパートナーの役割を考え「家族、親子の絆」が深まる時間になりました。



井上 松代氏

【ているる塾修了生応援講座】 修了生が先生だ！

「SDGsはじめの一步」～古着を活用して、エコバックをつくろう～

実施日：令和6年2月23日（金）10：00～12：00

講師：浦添 佳奈絵氏

場所：ているる3階 研修室1・2

内容：SDGsって何？持続可能とはどんな状態？SDGsができるまでの経緯や用語の確認、17の目標をひとつずつ確認しながらSDGsの仕組みをしっかりと学びました。後半は、「つくる責任、つかう責任」のゴール目標のもと、着なくなった上着を活用して、エコバックに大変身させました！



浦添 佳奈絵氏



事業報告&事業案内

(公財) おきなわ女性財団



【防災講座】

災害はやってくる！～知っておきたいイマドキ防災～

実施日：令和6年3月6日（水）13:30～16:00

場所：ているる3階 研修室1・2

内容：海に囲まれた沖縄周辺の海溝や活断層の近くで発生する地震やそれに伴う津波について、また、ジェンダー視点のイマドキ防災について学びました！

第1部「海に囲まれた沖縄、

備えるべき地震・津波のリスクとは!？」(60分)

石川 徹氏（沖縄気象台地震火山課 津波防災係長）

第2部「“ジェンダー×防災”こそが沖縄を救う!？」(80分)

稲垣 暁氏（災害ソーシャルワーカー（社会福祉士 防災士））



石川 徹氏



稲垣 暁氏

【講座等企画団体助成事業】

(公財) おきなわ女性財団では第6次沖縄県男女共同参画計画（DEIGO プラン）の推進を目的とした沖縄県内の地域や民間の団体が企画開催する講座に対して、実施にかかる経費の一部を助成しています。令和5年度は、4団体に助成を決定しました。



沖縄県母親大会連絡会



沖縄県女性団体連絡協議会



一般社団法人ひとまち create なは



社会福祉法人恩陽会

事業報告&事業案内

沖縄県男女共同参画センター管理運営団体



【管理運営団体自主事業】「フラワーバルーン」

実施日：令和6年2月24日（土）13:00～15:00

講師：比嘉 桃子氏

内容：風船は空気を急に入れると破裂することもあるので、最初にしっかりとのばすことが大切だと説明がありました。細長いものや丸い風船を膨らませ、割れないようにねじり、花の形に仕上げていきました。また、完成した風船は、寒いところと暑いところ交互に置くと中の空気が膨張し風船が変形するので、安定した湿度のところでの取り扱うのがベストだと教わりました。



【管理運営団体自主事業】「ているる祭り」

実施予定日：令和6年3月30日（土）11時～4時30分

場所：ているる1階ホールおよびエントランス

内容：ホールの部：舞踊（琉球舞踊・日本舞踊・フラダンスなど）、弦楽合奏、劇団アラマンダによる手話劇など

エントランスの部：俳句・刺繍・手芸・苔玉などの作品展示

野菜・果物・コーヒー・パンなどの販売

バルーンアート・チョークアートなどのワークショップ

ているる図書情報室のご案内

沖縄県男女共同参画センター「ているる」図書情報室は、女性の地位向上、男女共同参画社会づくりをめざして、女性問題に関する図書、AV 資料、行政資料、県内外の女性関連施設概要、紀要、専門誌（紙）などの収集・提供を行う専門図書室です。社会環境の変化に伴い生じる女性問題の的確な把握、課題解決に向けた調査・研究の場、情報発信の場として、県民の様々な活動を支援します。

※上記の資料だけでなく、「沖縄」に関する資料収集も行っています。

ジェンダー平等や人権について考えてみましょう。図書情報室職員のお勧めの本を紹介します。また、児童図書で子どもや大人にも是非読んで欲しい本も紹介します。

● 失敗しないためのジェンダー表現ガイドブック ●

「〇〇女子」や「イケメン〇〇」という表現を無意識に使っていませんか。本書では、新聞でよく見るジェンダー表現、ウェブ上での“釣り見出し”、性暴力を報じるときのジェンダー表現や、新聞でジェンダー記事が発信されるまでについて、無意識の偏見や性別役割分業意識、男尊女卑などのジェンダーの視点からわかりやすく追及しています。

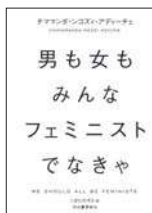
新聞労連ジェンダー表現ガイドブック編集チーム（著）
小学館



● 男も女もみんなフェミニストでなきゃ ●

「子どもたちへの眼差しを、ジェンダーよりもその子の能力や関心に向けてみたら？」と問いかける本書。従来のジェンダー規範に疑問を持ち、男女関係なく声を上げるべき理由がわかりやすく書かれています。明るい文体かつ 100 ページというコンパクトさも合わせて、幅広い方にお勧めの一冊です。

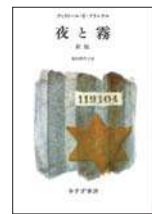
チママンダ・ンゴズィ・アディーチェ（著）
くぼたのぞみ（訳）
河出書房新社



● 夜と霧 ●

人間の生きがいとは何かを追及した名著「夜と霧」。この本の著者は、第2次世界大戦の強制収容所から奇跡的な生還を果たしたユダヤ人のヴィクトール・フランクル。戦後まもなく出版され、世界的なベストセラーとなり、アメリカ合衆国では「私の人生に最も影響を与えた本」でベスト10入りした唯一の精神医学関係の書となっています。

ヴィクトール・E・フランクル（著）
池田香代子（訳）
みすず書房



● 失敗図鑑 ●

すごい人ほどダメだった！ スティーブ・ジョブズ、野口英世、ピカソなどの歴史の偉人の失敗エピソードとその失敗をどのようにして乗り越えていったのかについて書かれている本です。分野が児童書ということもあり、お子さんも楽しんで読めるだけではなく大人も楽しく読め、それと同時に考えさせられる本です。

大野正人（著）
文響社



ご利用方法

時間：■火曜日～土曜日 9:00～20:00 ■日曜日 9:00～17:00
休室日：毎週月曜日（休館日）、毎月第1水曜日（室内整理日）、12月29日～1月3日（年末年始）
借りる：住所・氏名の確認できるもの（運転免許証・健康保険証・学生証）などをご持参ください。県内在住の方であればご利用できます。
期間：1人10冊まで、2週間
※ 雑誌は最新号以外を借りることができます。
※ 行政資料・館内ラベルの資料は室内閲覧のみになります。
問い合わせ：沖縄県男女共同参画センター TEL098-868-4077（直通）



～ているる相談室～

公益財団法人おきなわ女性財団では相談窓口を開設しています。
相談料は無料(通話料は相談者負担)、秘密(プライバシー)を固く守ります。

	女性相談 TEL : 098-868-4010	国際女性相談 TEL : 098-880-3402	にじいろ相談 TEL : 098-880-8434	男性相談 TEL : 098-868-4011
日時	火曜～土曜 10:00～17:00		土曜のみ 10:00～17:00	日曜と月曜 10:00～16:00
相談方法	電話/面接(面接は予約が必要です。) 女性からの相談を女性の相談員がお受けします。 特別相談(予約が必要です。) 専門家による面接相談 ◆法律相談(月2回) ◆こころの健康相談(月1回)		電話/面接 (面接は予約が必要です。)	電話 男性からの相談を男性の相談員がお受けします。 ※相談は、電話相談のみとなります。
相談内容	女性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談をお受けします。	外国人との結婚・離婚など様々な問題に関する相談をお受けします。	セクシャリティに関わる悩みや困りごとをご本人だけでなく、家族や周囲の方からのご相談もお受けします。	男性が抱える家庭や職場での人間関係、生き方、心や体の悩みなどの相談を電話でお受けします。
休み	毎週日曜と月曜、年末年始(12/29～1/3)		年末年始(12/29～1/3)	祝日にあたる月曜、年末年始(12/29～1/3)

～賛助会員入会・継続のご案内～

当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださるみなさまのご入会をお待ちしております。
頂いた会費は各種事業などに活用させていただきます。

- 特典：情報誌「ているるちゃんがいっく！」や講演会・講座情報などを文書にてお届けいたします。
講演会や講座等へ優先的に参加、当財団が主催する有料講座は会員価格で受講できます。
- 年会費：個人会員：3,000円 学生会員：2,000円 団体会員：10,000円
※新規は、入会時期(申込日)により金額が異なります。
(公財)おきなわ女性財団(098-868-3717)までお問合せください。

(公財)おきなわ女性財団 賛助団体会員の皆様

～当財団の活動に賛同し、一緒に歩んでくださっている団体会員のみなさまをご紹介します～

一般社団法人沖縄県女性の翼、沖縄空輸株式会社、沖縄県女性団体連絡協議会、
沖縄県母親大会連絡会、沖縄セルラー電話株式会社、沖縄テレビ放送株式会社、
沖縄ピーシー株式会社、オリオンビール株式会社、金秀アルミ工業株式会社、金秀鋼材株式会社、
金秀興産株式会社、金秀商事株式会社、金秀鉄工株式会社、金秀ホールディングス株式会社、
株式会社オーディフ、株式会社沖縄銀行、株式会社かりゆし、
株式会社かりゆしエンターテイメント、株式会社カルティバイト、国際ソロプチミスト沖縄、
社会福祉法人恩陽会、一般社団法人ひとまちcreateなは、名護市女性ネットワーク協議会、
ファーム INナビーの里、パリテカフェ沖縄、ジョイネス沖縄

